

第14回塔の島地区景観構造検討会

議事要旨

【開催概要】

開催日時：平成29年8月10日(木) 15:00~17:00

開催場所：ゆめりあ うじ 4F 会議室1

【出席者】

委員：浮田、大西、亀田、紀平、中川、中村、東出、宮城、山本

(以上敬称略)

事務局：淀川河川事務所、京都府

一般傍聴者：4名

【審議の概要】

本検討会では工事状況等について報告し、宇治公園の上面整備計画、宇治川の河川改修計画などについて審議した。

(1) 報告事項

- ・工事の進捗状況としてH28年度に行った工事内容について報告した。
- ・平成29年度の工事範囲、平成30年度の工事内容について報告した。

協議内容は以下のとおりである。

- 平成29年度工事予定の中間堰の改良は、現状ではコンクリートが見えており、改修後は石張り構造でなく、導流堤のような構造(石積)の方が良い。
- 船からの景観において、現状の改修された護岸は小段が高く、圧迫感があり、今後さらに河床が下がると圧迫感が増すのではないかと。少しでも小段高を下げた方が良い。
 - 現況護岸は直壁になっているが、改修後の護岸勾配は1:0.5となるため、圧迫感は軽減されると考えている。
- 導流堤完成後に、導流機能が発揮できない場合、導流堤の修正は可能か。
 - 水理計算や模型実験を行って導流堤構造を決定しているため問題ないと考えているが、導流堤機能が発揮できない場合は、順応的に対応する予定である。

(2) 審議事項(議事)

① 宇治公園の上面整備計画について

「宇治公園再生計画」について京都府より説明。

- ・整備内容として、「石敷舗装」、「照明設置」、「安全柵設置」、「ベンチ設置」、「橘島トイレ水洗化工事」を予定。

- ・安全柵については島全体を囲うものとし、階段箇所については開閉式の構造とする。
- ・安全柵は護岸の天端より約 20cm 島側の位置に設置する。
- ・照明設備は島全体を照らすものではなく、スポットライトと足元灯を誘導灯として設置する。
- ・工事は島内のイベントに配慮し、平成 29 年 12 月上旬に着手し平成 30 年度完成を目標とする。

以下に示す意見があった。

- 柵は公園の利用面積の確保と公園内からと対岸からの眺望における景観性を考慮すると、護岸側（ラウンド部の勾配が緩い位置）にはりだして配置すべきである。
 - その場合、護岸（河川構造物）に柵を設置することとなり、管理上の問題もあるため、河川管理者（国）と公園管理者（府）で今後調整の上、回答する。
- 公園内の灌木が河川の開放的な景観を阻害（公園内から水面が見えない）しているため、公園台帳に記載のない植栽であれば撤去すべきである。公園台帳に記載が在る場合でも、視線がぬけるように適正な高さに維持管理しなければならない。
- トイレの水洗化に伴い、改修後は頻繁に掃除して欲しい。
- 塔の川側は護岸が急勾配なため、川に落下した場合の対策として、川に流されないように掴めるような設備があった方がよい。（島から見えない程度のもの）
 - 河川の石積護岸は玉石のようなものが多いが、塔の島地区では大きめの石としており、石の隙間を掴むことは可能とも考えられる。

②宇治山田護岸について

- ・第 12 回検討会で決定した宇治山田護岸構造では現況樹木の移植が必要となるため、流下能力を確保した上で以下の構造形式とする。
 - (イ) 護岸法線は現況樹木から約 1.5, ～2.0m 程度の離隔を確保する。
 - (ロ) 既設護岸および敷石は HWL－2.0m 以下を存置させる。
 - (ハ) 護岸天端には堤防の余裕高確保として、最小値 60cm のパラペット（無垢自然石）を設置する。

③導流堤の先端構造について

- ・第 13 回検討会の指摘事項を受けて、導流堤先端構造は以下のとおりとする。
 - (イ) 先端部の石材には巨石を組み合わせ、石材横にも巨石を添えるような配置とする。
 - (ロ) 先端部石材間の止水対策として、止水板（樹脂モルタル充填）を設置する。

以下に示す意見があった。

- 平成 28 年度に施工された導流堤は、塔の島からの落差が大きく違和感があるため、島と導流堤をなめらかに擦りつけるような構造が望ましい。
 - 平成 30 年度の導流堤先端部の工事で行うように検討する。

④橋梁補強について

- ・朝霧橋、橘橋、喜撰橋の 3 橋は河床掘削に伴い橋脚補強が必要となるが、構造上必要最低限の箇所のための補強は、景観上課題となっていることを報告。
- ・朝霧橋は、現在予定されている耐震補強工事は P1 橋脚のみであるため、片側だけ補強することが景観上課題となっていることを報告。

以下に示す意見があった。

- 橋脚化粧する場合は、白色（膨張色）ではなく、濃い色（収縮色）が望ましい。

⑤CCTV カメラの配置計画について

- ・天ヶ瀬ダム放流時の監視用 CCTV カメラの設置位置は、現在仮設 CCTV カメラを設置している位置と同位置（橘橋上流）とし、目立たないよう樹木間に設置する。

(3) 今後の審議事項

- ・今後の主な審議事項は以下のとおり。
 - ・安全柵の設置位置
 - ・橋脚補強の景観対策

以上